

すこやかちゃん



鎌田 悠希ちゃん
(南新木・1歳5か月)

急に始まったイヤイヤ期。「マイマイ」と言って首を横に振るあなた。どこで覚えてきたの？笑



岡本 なごみちゃん
(寿・1歳3か月)

元気なお兄ちゃんたちに負けないくらい、元気で笑顔いっぱいなのなごみちゃんできてね♡

ヤングママの子育て講座

今、子育てに悩むお母さんはたくさんいます。特に若くしてママになると、「子どもとどう向き合っているのか分からない」「子どもをどのように誉めていいのか分からない」と悩みがちです。子育てに悩む若いママのためにコモンセンスペアレンティング(子どもを育てる技術)を活用した「ヤングママの子育て講座」を開催します。講座の参加を機会に「ママ友」をつくりましょう。

日時 10月10日(休)～11月14日(休)(毎週木曜日全6回)、午後1時30分～3時30分(1時20分受付)

場所 我孫子南近隣センター(けやきプラザ8階第1会議室)

対象・定員 子どもとの関係に悩んでいる22歳未満の方(お子さんの年齢は3歳以上)、先着10人 ※保育あり(要事前申込)

申・問 電話で子ども相談課☎7185-1494(9月17日(休)から受け付け。定員になり次第締め切り)

我孫子で子育てを楽しむために

子育て応援隊をご利用ください

我孫子市認定の子育てサポーターが、地域の「子育て応援隊」として乳幼児を子育て中のご家庭に伺い、市が実施する子育て支援施設やイベント・講習会などさまざまな子育て情報をご紹介します。なお、訪問は玄関先まで、所要時間は15分程度です。ぜひご利用ください。

対象 市内在住で、乳幼児を在宅育児している方

申込方法 「利用申込書」を提出してください(利用申込書は、保育課、子育て支援施設4広場、保健センターで配布しているほか、市ホームページ内「あびこで子育て」にも掲載しています)。

目 保育課、子育て支援施設4広場、各行政サービスセンターへ持参。郵送、ファクスも可。〒270-1192市役所保育課(住所省略可) ☎7182-8080

問 子育て支援センター☎7185-1915

日時 10月18日(金)午前10時～正午

ママへの美肌ランチ!

がんばるママへのごほうび! 美肌ランチを召し上がれ!

日時 10月14日(祝)午前10時～20分(正午(10時受付))

場所 吉田記念テニス研修センター(柏市花野井)

ピョピョ親子ショートテニス教室



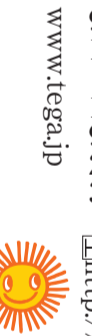
日時 10月16日(月)午前9時から我孫子南近隣センター ☎7181-110

費用 300円
持ち物 エプロン・三角巾・ハンドタオル・おんぶひも・お子さんの好きな物(ガーゼ・おしゃぶり・おもちゃなど)

対象・定員 妊婦中の方から2歳以下のお子さんがいる保護者、先着10人。有料保育あり(1人500円)

内容 鮭バーグ、かぼちゃとほんぺんのサラダほか講師:我孫子市健康づくり推進員および食生活改善推進員

場所 我孫子南近隣センター1調理室・和室(けやきプラザ8階)



日時 10月27日(日)午前9時～45分(正午(9時15分受付))

場所 千葉県立手賀の丘少年自然の家(柏市泉1240の1)

内容 大型の望遠鏡を使い太陽を観察し、太陽系にまつわる話を通して宇宙と自然に親しみませ。

対象・定員 親子または一般、先着50人(定員になり次第締め切り)

手賀の丘で太陽を観察しよう!

子育て Q&A 55

脱臼



Q 3歳になる息子が脱臼し整形外科を受診しました。脱臼は、くせになると聞きましたがいつごろまで続くのですか。

A 小学校入学ごろまでは、脱臼を繰り返しやすいと言われていました。子どもの骨格が発達するにつれ脱臼を起こしにくくなります。

脱臼は、親と手をつないで歩き急につまずいて倒れそうになったときや、親と違う方向に行こうとしたときなど子どもの手や腕をつかんでいる際に起こりやすいです。また、自分で転び手をついた時に起こることもあります。

再度脱臼してしまったと思われる場合には、脱臼以外にも捻挫や骨折などの可能性もあるため、自己判断せず整形外科を受診しましょう。また、就園している場合は、先生に脱臼し受診したことを伝えておきましょう。

日常生活で注意すること ○手を引く時に「手をつなぐよ」と声かけをしてから手をつなぐ ○体を起こす時は、脇の下に手を入れて起こす ○飛び出しなどを抑えるのは脱臼しやすい手や腕でなく、服や腰の部分をつかむ

問 健康づくり支援課☎7185-1126

こども発達センター

保護者学習会



日時 10月31日(休)午前10時～11時30分

場所 こども発達センター(新木1637)

内容 『こどもの将来像をイメージする～発達のステージに応じて～』

講師 大石幸二さん(立教大学現代心理学部心理学教授)

対象 利用者の保護者のほか、どなたでも参加できます

定員 先着50人(定員になり次第締め切り)

費用 無料

※当日、託児が必要な方は合わせてお申し込みください。

※多くの方に聴講いただくために机の準備ができませんので、必要な方はバインダーなどを持参してください。

※駐車場に限りがあります。なるべく、公共交通機関をご利用ください。

申・問 電話、窓口。10月18日(金)までに、こども発達センター☎7188-0472